



中 田 小

【学校教育目標】

さわやか笑顔 中田っ子
～思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます～

平成27年5月1日

【中田小ホームページ】

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

風薫る5月に

校長 蒲谷 猛

『森へ行きましょう』

ポーランド民謡

日本語詞：東大音感合唱団

- 1 森へ行きましょう
娘さん (アハハ)
鳥が鳴く (アハハ)
あの森へ (ラララララ)
僕らは木を伐る
君たちは (アハハ)
草刈りの (アハハ)
仕事しに
(*）ランラララ ランラララ
ランラーララ
ランラララ ランラララ
ランラーララ
ランラララ ランラララ
ランラーララ
ララララララ ラララララン
- 2 お昼の休みにゃ
娘さん (アハハ)
まんまるい (アハハ)
輪をつくり (ラララララ)
話をしながら
おもしろく (アハハ)
お弁当 (アハハ)
食べましょう
(*繰り返す)

新緑の萌える校庭では、子どもたちの元気な笑い声が響いています。五月のまぶしい日差しを浴びて、みんないきいきとしています。本校の敷地内は、四季の変化を実感できるすばらしい環境にあります。現在は、新緑の輝きを存分に味わっているところです。

木々に囲まれた空間に入ると、さわやかなリラックスした気持ちになります。それは、「フィトンチッド」や「マイナスイオン」などの効果なのではないかと言われていましたが、科学的な根拠は明確にはなっていませんでした。それが、最近の研究では、ガン細胞を防ぐNK(ナチュラルキラー)細胞の活性化が促進されるということが実証されるなど、科学的な解明も進んでいます。

ストレス状態にある大手企業の会社員12名に、長野県の森林散歩道に3日間滞在してもらい、森林浴の前後でNK細胞の機能がどう変化するかを調べたところ、日を追うごとに大幅に活性が増強されたのだそうです。

先日、鯉ヶ久保樹林愛護会総会に参加させていただきました。貴重な緑地を維持するためには、年間を通して、多くの方々が実に大変な時間と労力を割いていただいていること、その活動が地元環境を大切にしようという強い思いに支えられていることを再認識し、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。実際に鯉ヶ久保樹林を訪れてみると、とても落ち着いた気分になります。地元豊かな環境が残るこの地域は、子どもたちの自己形成には最高の空間だと思います。

校内の環境にしても、まちの自然環境にしても、子どもたちにとっては「あたりまえ」に存在し、享受しているものですが、その価値やその環境を支えてくださっている方々の思いに気づき、「ありがたい」という気持ちをもつことができるようにするのは、教育の務めだと思います。

他の学校や地域と比較して、どちらがいいとか悪いとかいうのではなく、本校のよさやこのまちのよさをじっくりと味わえるような学習活動を子どもたちと一緒に作り、深めていかなければなりません。この学校が、このまちが大好きな子どもたちにして

いきたいと思います。

風薫る、日差しも心地よいこの時期をとらえて、様々な学年がまちへ出かけていきます。ぜひ、保護者の皆様や地域の方々のこのまちへの思いを子どもたちに語っていただけましたら幸いです。

